

インターンシップ・U・I・Jターン支援事業

三重県内では、薬系人材が不足しているため、三重県が㈱三重県薬剤師会や三重県薬事工業会と連携して人材確保のために様々な事業を進めています。

薬剤師無料職業紹介

県内企業、薬局、病院等の薬剤師確保のため、(社)三重県薬剤師会では、厚生労働省の認可を受けて職業紹介を行っています。どなたでも企業や薬局等が登録した求人情報をインターネット上で閲覧でき、電話等での問合せにも対応しています。

三重県薬剤師会ホームページ <http://www.mieyaku.or.jp/>

薬学部訪問

(社)三重県薬剤師会と協働して東海、北陸、近畿地域の薬系大学10校を訪問し、就職状況の情報収集を行うとともに三重県出身者学生への情報提供を進めています。

みえ薬剤師ふるさと実習・就職ガイダンス

スケジュール

13:00 開会挨拶	
13:15 事業趣旨説明	(社)三重県薬剤師会
13:30 薬局実習及び 薬局・病院の状況について	(社)三重県薬剤師会
14:30 企業の状況について	三重県薬事工業会
15:30 公務員(県職員)の状況について	三重県健康福祉部薬務食品室
16:30 閉会	



■ガイダンスを受ける学生達

インターンシップ

三重県では、本年度初めて薬学生のインターンシップを受け入れました。延べ7日間にわたり県庁や保健所において業務の説明、施設監視同行やイベント参加を体験していただきました。このインターンシップは、薬学部訪問をきっかけにある大学から申し入れがあったものです。今後もインターンシップの受け入れを継続していきたいと思



■インターンシップ

入れがあったものです。今後もインターンシップの受け入れを継続していきたいと思



■企業コーナー

今回、初めての試みとして(社)三重県薬剤師会、三重県薬事工業会、三重県が協力してふるさと実習や就職のためのガイダンスを開催しました。当日は、東海地域を中心として関東や九州地域の大学が25名の学生に参加していただきました。



■県職員とのフリートーク

特に企業コーナーでは、県内の医薬品等のメーカー5社がブースを出展し、各社の企業説明のあと、各ブースで学生に詳細な説明が行われました。また、公務員(県職員)コーナーでは、2名の若手県職員と参加学生とのフリートークを行い、学生から様々な質問があり、活発なディスカッションが交わされました。

メディカルバレー通信

M E D I C A L V A L L E Y P R E S S

メディカルバレーの充実と鈴鹿国際大学・鈴鹿短期大学



ごあいさつ

鈴鹿国際大学学長
武部 泰男

三重県のメディカルバレープロジェクトは、21世紀とともに出発しましたから、早くも6年経過したことになります。医療・健康・福祉の分野を総合的に捉えたプロジェクトですから、これが成功しますと新しい時代を象徴する画期的な仕事と言えるわけで、各方面から大きな期待が寄せられていると思います。

ところで政治・経済をはじめ人間のすべての文化は個と社会の二つの側面から成り立っていますが、分野によって重点が少しずつ異なります。例えば法とか道徳とかをとってみますと、そのテーマの本質から言って最初から「他」を含んでいます。演劇などの分野で言えば、その演劇の目的を共有した上で、参加者それぞれの個性と才能に応じた役割の配分と、その実行が主な仕事になります。これらは本来的に国や共同組織の仕事です。

それに対して医療・健康・福祉の分野はとりわけ個の側面が強いと思われま

す。というのも、この分野の出発点は病気・障害といった、それ自体他と共有し得ない心身状況だからで、自分にとってもっとも重大な事柄が、他(たとえば医師)にとっては単なる(たとえば病気の)1事例に過ぎないという、自他との乖離がもっとも甚だしい分野であろうと思われま

す。医の歴史がおそらく人間の歴史と同じくらい古いのに、この分野が共同体の仕事として遂行されてこなかった理由はまさにその点にありますし、それ故に、この分野での総合プロジェクトの構想はまさに先進文化の担い手でなければ実現しないものだと言って良いはず

です。この極めて個人的な事柄を社会事象として捉える、という意識の変革はよほど文化が進まないとは可能ではないから

です。その意味でもこのプロジェクトに高等教育・研究機関が総出で立ち向かうというのは重要なこと

です。行政の側から言っても利用し甲斐があるはずでしょう。

鈴鹿国際大学も鈴鹿短期大学も専門分野の関係上直接メディカルな部分で参加することはできませんが、上記のようにこれを社会事象として捉えた場合お手伝いできる部分が多々ありますし、健康・福祉の分野では短大の方も参加可能

と思っています。

メディカルバレープロジェクトの一層の発展を望む次第です。

リーディング産業展みえ2007

製品・技術の展示展(三重をリードする産業などを一堂に展示する産業見本市)、セミナー・講演会、出展企業によるプレゼンテーション、商談会、三重の産業紹介コーナーなどを計画しています。

日時 平成19年11月9日(金) 10:00~17:00
11月10日(土) 10:00~16:00

場所 四日市ドーム
(四日市市大字羽津甲5169番霞ヶ浦緑地内)

URL <http://www.pref.mie.jp/sangyos/moyooshi/>

お問い合わせ先
三重県農水商工部農水商工企画室内
リーディング産業展みえ2007実行委員会
TEL: 059-224-2512 FAX: 059-224-2521

県内企業の特許シリーズ等の情報提供

■特許活用商品化事例等の展示

知的財産マッチング商談コーナー

無料特許相談会

メディカルバレー知財セミナー

■テーマ「地域の健康素材、自然資源に
ビジネスチャンスあり」

■日時 11月9日(金)
10:30~12:30

■場所 第1セミナー会場
(四日市ドーム)

講師
『日経ベンチャー』
発行人兼編集長
樋口 一郎 氏

同時開催 知的財産活用・流通フェア

編集後記

発行 三重県健康福祉部薬務食品室 メディカルバレー推進グループ
〒514-8570 三重県津市広明町13番地
TEL:059-224-2331 FAX:059-224-2344
e-mail:yakumus@pref.mie.jp

メディカルバレープロジェクトホームページ
<http://www.mvp.pref.mie.jp/>

みえ福祉用具産業支援ネットワークホームページ
<http://www.fynet.pref.mie.jp/>

医薬品安全情報提供システムホームページ
<http://www.medsafe.pref.mie.jp/>

三重県薬事工業情報提供システム(PIIS)ホームページ
<http://www.piis.pref.mie.jp/>